

広報とうかい 人・自然・文化が響き合うまち Tokai

September [No.763]

9・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2008年 [平成20年]

Contents [9月の主な話題]

- 巻頭特集「平成20年度村政懇談会」………2
生活弱者への視点と持続可能な社会、
分権時代での自立で住民の安全安心づくりを
- 介護保険推進全国サミットinとうかいむら(連載その2)………8
サミット参加申し込みは9月19日まで
- 公的な身分証明書“住基カード”を日々の暮らしに………10
- なごみチャンネル⑦>認知症予防の「なごみ大学」ほか………10
- 「かえで通り」で午前10時30分から交通規制………11
「茨城県原子力総合防災訓練」を9月30日に
- 役場における環境への取り組みについて………12
二酸化炭素の排出量を4.4%削減
- 東海村と指定管工事業協同組合が災害時協力協定………13
- 国民年金だより>月額400円で将来の年金が上乘せ………13
- ず〜むあっぷ「まちの風景」………14
- いんふおめーしょん………16
9月27日に「東海まつり」花火大会、
自治基本条例(案)地域説明・意見交換会ほか
- わが家の子育て奮戦記………22
[白方中央]高田幸江さん・幸穂ちゃん・真幸ちゃん・幸駕くん



撮影地/白方公園(白方)

平成20年度村政懇談会



村長
村上 達也



教育長
高橋 健彦



副村長
渡邊 政美



議会事務局長
澤畑 正一



教育次長
稲川 敏夫



消防長
村上 幹男



建設水道部長
菅谷 昇



経済環境部長
石澤 通



福祉部長
高橋 範夫



企画政策部長
懸上 忠寿



企画政策部長
川崎 順夫



総務部長
町野 博

現在東海村の村政はどのような状況なのか、また村民の皆さんはどのように考えているのかを伺い、村民主体の行政を積極的に進めるため、自治会連合会主催による村政懇談会が村内各コミュニティセンターで行われました。今年度はどのような視点に立ちどのような重点施策が行われるのか村長から報告があり、続いて策定委員による「東海村自治基本条例(素案)」策定の進捗状況報告、村民の皆さんからの村政に対する質問・意見・要望等が出されました。

村長からの報告事項

平成20年度の村政運営の視点(村政の基本理念)

今、理念や基本方針をしっかりと立てなければならぬ時代になってきていると思います。どこに行っても安全・安心という言葉が聞かれないことがないほどで、それだけ不安な時代であります。また、官僚や教育者までも不信な出来事を起こし、今まで正しいと思っていたものが、そうではないかもしれないと思われるような時代でもあります。では、安全・安心な社会をどうやってつくっていくか、人間的なところに立った地方行政が必要になってきていると思います。村民の皆さんもお考えいただきたいと思っています。

東海村の行政は第4次総合計画(平成13年度～22年度)が基本です。その中でも後期基本計画が平成18年度から始まっており、それに基づいて行われています。東海村では4つの柱(福祉・教育・環境・農業)を重点に取り組んでいます。その根底となるものは①人権尊重・個人尊重(生活弱者への視点)②持続可能な社会③分権時代での自立——であり、もう一度立て直す必要があると思っています。

人権尊重・個人尊重(生活弱者への視点)

人は生まれながらにして強制されることのない自由で生きる権利を有しています。いわゆる基本的人権ですが、その人権を尊重した行政でなければならぬし、それがしっかりとできるかだと思っています。生活力の弱い方たちが最終的には救われなくてはならないという考えであ

ることを示しておきます。

持続可能な社会へ

日本は今まで発展や成長という中で経済大国となりましたが、これが今狂い始めています。現在、原油高というものを肌で感じていると思いませんか。経済を今まで推進してきた根拠が狂い始めてきていると言えます。発展の一つであった道路整備が特定財源から一般財源に変わりました。地方においては今永続する価値によって持続可能な社会をつくっていくこうとする動きが広まりつつあります。それは、私たちが昔から持っているもの(自然・歴史・文化)を見直し、大事にしていこうというものです。

分権時代での自立

分権という波が押し寄せてきています。当然ながら私たちの生活が中央集権で支えられるとは思いませんが、そうなることと自己決定・自己責任ということで、自分たちの自治能力(住民力・行政力・財力)を高めていかなければなりません。

平成20年度予算の重点施策

予算については、一般会計で今年初めて180億円を超えました。140億円前後を基本にやってきましたが、近年は病院建設や学校建設等で160億円から170億円。今年には白方小学校建設や東海P.A.スマートIC、NTT跡地の整備で約20億円が上乗せされています。

格差是正

▼所得格差が拡大しているということで、ワーキングプア是正を呼び掛けている自治体として、

村職員の約3分の1の非正規職員の時給を1年の勤務を見込まれる方は大学卒業職員の時間給(1070円)、短時間勤務の方は高等学校卒業職員の時間給(870円)に引き上げました。▼母子・父子家庭への助成については、離婚率を見ると1970年は10%に対し、2005年では37%になっており、社会や価値観が変わってきているようです。東海村では約250世帯が母子家庭で、そのうち年間所得153万円以下の世帯は80%以上です。村として助成し、生活の安定を図ります。▼就職相談を昨年度から引き続き行い、ニート、フリーターの方を支援します。

高齢者福祉

▼後期高齢者医療制度についてはスタートしていませんし、広域連合が県内44市町村を一括して行うものであり、制度に従っていかねければなりません。今後高齢者がどのような医療環境になるか心配です。今年には具体的なことは設定していませんが、今後に備えて現状を見守っていきます。▼介護保険については、今までの在宅サービス支援の所得制限を撤廃して助成を行います。▼「なごみ・総合支援センター」については、障がい者(精神・身体・知的)へのケアの充実や発達の遅れた子どもたちの学校と福祉の連携ができるようになってきております。

自然環境保全

東海村の樹林帯は海岸部の原子力施設の砂防林を除くとわずか10%しかないという現状です。東海村発足50周年記念で緑化基金をつくり、昨年12月に条例を制定しました。今後は自然環境保護を

組織的・制度的に行っていくと現在のプランを策定中です。また、村民に良い環境をつくっていくために環境都市宣言をしていく必要があります。

農業の再生

▼国の補助を受け、JAと共同して、地産地消の拠点としてファーマーズマーケット(運営はJA)と農業支援センター(運営は村)の整備を行います。いわゆる「直売所」です。

J・P・A・R・C稼働への対応

▼今年12月の稼働に備え、N T T茨城研究センター跡地を買取し、「研究交流プラザ」を作ります。その中には東京大学原子力専攻大学院、茨城大学等J・P・A・R・Cを使う大学、高エネルギー加速器研究機構が入ることでの一つの拠点ができます。▼つくば、東京への交通の利便性を高めるため、東海P A スマートIC(上下線とも・ETC専用)を整備します。▼駅舎の改装を進めます。

校舎改築(耐震化)の促進

▼白方小学校、照沼小学校、東海中学校、中丸小学校の順で改築し、耐震化する予定です。文部科学省の指導でどうなるかは分かりませんが、今のところ新築を考えています。場合によっては、暫定的な補強も必要になってくるかもしれません。

自治基本条例制定の趣旨・ねらい

地方再編(合併)への対処

なぜこんなことをするのかの一番は「危機感を感じたことです。地方の再編が強力に進められ、今茨城県は44市町村になっていますが、それを17

にするとかという計画もまだにあります。合併されたら3万6000人の村が隣の大きなまちに吸収されてしまうだろう。そのときに私たちの主張はできるのだろうか。そのためには、地域の自治能力を高めて、いわゆる物言う村民をたくさんつくろうと思つたのです。自分たちで決定するぞという村民の集団をつくっていくということところが正直なところです。住民の力を反映させて役場の行政能力を高めようとしたのが最初です。それはまさに住民の意識と力によるということをやってきました。

社会制度の脆弱化の進行

そして、時代の変化、高齢化、世界的な経済の拡大の中で日本の政府、地方自治は財政が行き詰まってきました。このような中で社会制度が脆弱化しています。今までの社会制度をそのまま適用しただけでは救えないという時代になりました。国にも県にも頼れない中、自分たちの地域の人と人とのつながり、連携というものを高めていくということがねらいであります。

地域社会の変貌

旧来の常会というような概念では補足しきれなくなつたというのが東海村の現状です。自治会の加入率が全体で60%ぐらい。低いところでは40%台、30%台というところもあります。この辺りをどうするかということについては、もう少し若い人たちに加入してもらいたい。権利と義務に基づき連帯してほしい。義務という強制するというようにも考えてしまいますが、理解と自覚を求めていくことが必要だろうと思っています。



村松小学校区

真崎区・舟石川三区・
原電滝坂区・
原子力機構荒谷台区



日時 ● 7月15日(火)・午後7時～9時
会場 ● 真崎コミュニティセンター
司会・進行 ● 菊地芳見さん(原電滝坂区
自治会長)
参加住民数 ● 97人

■東海南中学校学区には、文化センターや図書館、体育館等がありますが、東海中学校学区には、生涯学習施設が一つも無く、不公平感を感じています。白方小学校の跡地に、村内で発掘された遺物を収蔵・展示する施設の検討をお願いします。(真崎区住民)

教育長 A校舎(前)にある鉄筋3階建ての校舎とプールは解体しますが、B校舎後にあるプレハブ校舎を遺物の保管庫に、体育館を東海村総合型地域スポーツクラブの事務局に利用したいと考えております。土地利用につきましては、公園や広場等も検討しているところですが、地域の皆さんや議会のご意見を汲み取りつつ、関係各所と協議を進めながら、検討を進めてまいりたいと考えております。

■村長の説明の中で、自然歴史文化を大事にしていきたいという話がありました。東海村には豊かな自然がたくさんあり、源氏ポタルやオオタカ、サンショウウオも生息しています。原子力機構構内には村の花スカシユリやオオウメガサソウが年々増殖しておりま

すので、村民が年に1回程度原子力機構構内に入ってそれらを見に行けるように配慮していただきたい。また、村内には貴重な文化財がたくさんありますが、現地に立て札等が無いのでどこにあるのか分からない状況です。立て札を立てるなど目に見える形の対策を取っていただきたい。(真崎区住民)

教育次長 文化財の立て札の件につきましては、対策をとってまいります。

村長 期限を設けて、村民に見せてもらえるように原子力機構にお願いしてみます。

■自治基本条例において、東海村に住民登録した時点で自治会に強制加入させるような規定を設けることはできないでしょうか。各自治会が自治会費等を納めていない人の面倒までも見てあげなくてはならないのは不公平であるように思います。(真崎区住民)

総務部長 自治会への強制加入を自治基本条例に規定するのは、住民を拘束することになり非常に難しいと思います。ただ、拘束はできないかもしれませんが、それ以外の方法として、自治会活動に関して何らかの規定をしていきたいと考えております。

村長 先ほど「権利と義務の話があり、住民が地域と一緒に住むといった場合に、地域からサービスを受ける権利があるとすれば、それには何らかの義務を果たすというのは当然であると考えます。

■納税の通知書をもっと早く出していただきたいと思えます。せめて納入期限の1か月くらい前に出していただけないでしょうか。(真崎区住民)

総務部長 確かにご指摘のとおりかと思えます。算定の時期を変えるなど、できるだけ早く通知できるように努力してまいります。



白方小学校区

白方区・豊岡区・岡区・百塚区・
亀下区・原子力機構百塚区・
豊白区・村松北区



日時 ● 7月16日(水)・午後7時～9時
会場 ● 白方コミュニティセンター
司会・進行 ● 川崎邦勝さん(白方区自治
会長)
参加住民数 ● 108人

■自治基本条例については概略の説明なので質問のしようがありませんが、住民が積極的に参加するというのは良いことだと思います。ただ、自治会等で行事しても現役の人や若い人が参加しません。住民全体がどのように参加するかという点について具体的に議論していただきたいと思えます。(白方区住民)

自治基本条例策定委員 そのとおりだと思います。ご意見ありがとうございます。

■村松北区は道路が狭く、車だけでなく歩行者の安全を保つためにもカーブミラーが必要ですが、昨年5件申請しましたが、現時点でまだ一つも設置されていません。なぜ遅れているのかお聞きしたい。地域の安全というものは早急に対処してほしいのでよろしくお願いします。(村松北区住民)

経済環境部長 村内には約500基のカーブミラーが設置されています。予算に応じて、毎年増設しております。今年度から自治会長の代表者で委員

会をつくり、優先順位を検討していきたいと思っております。対応できなかったところについては次年度予算化ができるように対応していきます。要望についてはなるべく答えていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

■地球規模でCO₂の削減が課題となっておりますが、CO₂の削減のため村民に自転車利用を推進してはどうかと思います。ぜひ自転車道路を中心とした村づくりを進めてほしいと思います。(白方区住民)

村長 東海村としても、自転車によるまちづくりという計画を持っております。現在、「エコりん」というものを実施しており、駅前役場・真崎コミュニティセンターの3か所に「エコりんステーション」を設置しています。介護保険推進全国サミットに向けて、ステーションを拡大して、公共施設間の移動ができるようにしていきたいと考えております。また、歩道の整備には費用が掛かります。車中心から自転車・歩行者にやさしいまちづくりを進めていきたいと思ひます。まだ具体的な計画ができていないわけではございませんので、急がなければならぬと考えております。

■バイオディーゼル燃料の利用についてですが、ぜひ協力したいと思ひます。集積所が遠い場合は持つていくのが大変ですので、粗大ごみの日にごみと一緒に集めてもらえれば、回収量も増え、コストも下がるのではないのでしょうか。(白方区住民)

経済環境部長 回収方法については現在NPOと協議中です。すばらしい方法だと思ひますので、検討させていただきたいと思ひます。



日時●7月17日(木)・午後7時～9時
会場●石神コミュニティセンター
司会・進行●仲田 進さん(竹瓦区自治会長)
参加住民数●103人

■農業情報発信館の施設建設は国の補助事業ですか。ここに村の職員を常駐させると聞かれています。東海村農業支援センターでは、何をやるのですか。(竹瓦区住民)

経済環境部長 農業情報発信館の建設費として、3億円程度を予定しています。資金配分としては、国からの補助金1億2500万円、村からは7000万円前後を負担し、残りについてはJAが負担する予定です。農業支援センターの運営については、村直轄で行うのか、外部委託するのか検討中です。いずれにしても、農業支援センターのトップになっていただく方には、東海村の農業振興のために、情熱のある方をお願いしたいと考えています。農業支援センターで行う事業は、認定農業者や新規就農者の育成、定年帰農者の受け入れ、女性農業者の育成等を考えています。また、農業者からの相談にのるといった仕事もしてもらう予定です

し、生産物の販売、加工、研修等の実践の場にもしていきたいと考えております。ファーマーズマーケットを機に東海村の農業を少しでも振興させるため、支援センターに大事な機能を担わせようと考えています。

村長 東海村の既存の生産者に「こういうものは作れないか」とJA営農センターでさまざまな働き掛けをしているところです。JAひたちなかが主体となるのですが、東海村の作物とは限らず、ひたちなか市や那珂市でも生産者を募集しているところです。東海村でも野菜作りを盛んにしていこうという考えに基づいています。約1ヘクタールという規模に直売所施設・農業支援センターを建設予定です。

■石神小学校から降りていくと、道路が少し盛り上がった所があったので、竹瓦の自治会長にお願いしてなだらかにしてもらいました。道路をなだらかにしたら、スピードを出す車が増えたように思ひますので、できれば、「スピードをだすな」などの交通標識があればいいと思ひます(要望)。(竹瓦区住民)

■昨日の殺傷事件は昼間おきましたが、夜になると暗いため、人通りも少なく、通報する人もいなくなりそうです。久慈川の遊歩道に電灯をつけ、明るくしてほしいと思ひます。また、夜10時ごろに、堤防の上を散歩している方もいます。安全とは、危ないと思つたものに対する対策であり、何か事件があつてから安全に対する対策をしても遅いと思ひますのでよろしくお願ひします(要望)。(竹瓦区住民)



舟石川小学校区

船場区・
舟石川一区・
舟石川二区



日時●7月18日(金)・午後7時～9時
会場●舟石川コミュニティセンター
司会・進行●**坪 洋右さん**(船場区自治
会長)
参加住民数●106人

■私は、舟石川・船場地区社会福祉協議会の会長を務めている中で苦勞している部分があります。それは、地区社会福祉協議会が使える費用について、予算を立て方が行政側のやり方のため、いろいろと制限があり、電話代やガソリン代などに支出できない状況です。自分たちの思いどおりになる予算の仕組みにできないでしょうか。(舟石川一区住民)

福祉部長 地区社会福祉協議会の考え方や活動資金は、今までの在宅福祉支援サークル事業を基にして始めたので活動しづらい部分もあると思います。地区委員会の6部会と均衡を図らなければならぬので地区社会福祉協議会のみを優遇させることはできません。今後の課題と捉え、活動の様子を見ながら改善していければと考えております。

村長 その事業を行う方々が活動しやすいようにして行かなければならないと思っております。

■先ほどの村長の話の中で加入率が98%の自治体があるということでしたが、どのようなことをしてい

るのか教えてもらいたい。また、自治会加入につながる何か良い方法があれば教えてもらいたい。(舟石川一区住民)

村長 その98%の自治体は我孫子市で、住民となることは自治会に入ると決められているようでした。また、私は柏市や文京区で生活したことがありますが、引越したらすぐに自治会の役員が来てごみ収集や自治会費について話しをされ、当然その地域で生活するならば、その地域のルールに従わなければならないと思つたものです。今後、自治基本条例を作り、村として、自治会加入促進を自治会に任せただけではなく、東海村の住民には自治基本条例があり、その条例を踏まえ地域の一員として生活・行動していただきたいと言つていかなければならないと思つております。

■ひたちなか市と東海村で広域の清掃センターを作るという計画ですが、今後、これ以外に広域化を検討しているものがあれば教えてください。(舟石川一区住民)

消防長 県内には26の消防本部がありますが、これを5つのブロックに統合し、広域化することが県の計画で進められております。この計画とは別に、ひたちなか市と東海村で消防の広域化を話し合つてるところでもありません。

村長 5ブロックに統合だと、東海村は小美玉市までの広範囲のブロックに位置付けられてしまい、ひたちなか市長と私は反対しております。常陸那珂港の関係上、消防艇を持たなければならぬので、県の計画がまとまる前にひたちなか市と消防の広域化を図り対抗しようと首長同士意見が合い進めております。できれば那珂市にも加わつてもらいたい。県構想よりも美態的なものにしてほしいと思っております。



照沼小学校区

宿区・照沼区・川根区・
原子力機構太田区・
原子力機構箕輪区



日時●7月23日(水)・午後7時～9時
会場●村松コミュニティセンター
司会・進行●**曳沼裕一さん**(原子力機構
太田区自治会長)
参加住民数●105人

■照沼小学校の通学路の村松郵便局から照沼小学校に至る道の特に坂の部分の照明が、照沼小学校に向かって右側に集中して設置されているので、せつかく整備された歩道側が照明に照らされていない状況である。特に子どもの安全面の観点から何とかならないか。(照沼区住民)

経済環境部長 現地を確認して対応したい。検討させていただきます。

■分別収集で回収されたプラスチックの資源ごみはどのように活用されているのですか。(原子力機構太田区住民)

経済環境部長 リサイクル協会という機関に引き取つてもらい、その後リサイクルされて別のプラスチック製品に生まれ変わっているはずですが。

■デマンドタクシーの利用時間を「午後4時まで」から「午後5時まで」に延長できませんか。また、日曜祝日に運行していただけますか。(宿区住民)

企画政策部長 午後5時までの延長については議

会でも指摘されていますが、タクシーの営業との兼ね合い、児童生徒の帰宅時間と重なり危険が増すことなどから、慎重に検討する必要があります。日曜・祝日の運行については、極力御家族に対応していただくというところで、現段階では考えていません。

■国道245号線の拡幅の進捗状況についてお聞きしたい。(宿区住民)

建設水道部長 昨年、県の常陸大宮土木事務所が関係する住民への説明会を実施し、現在調査に入っています。旧サイクル機構入口から阿漕ヶ浦公園入口までがその主な対象で、調査終了後、再び常陸大宮土木事務所が説明を行う予定です。村内の国道245号線および国道6号線の拡幅、4車線化については、毎年、国や県等に要望を行っているところです。

■昭沿地区の火力発電所に向かって延びる橋は、J・PARC完成後取り壊される方向であると聞いたが、ぜひ存続させる方向で対応してもらいたい。(宿区住民)

村長 原子力機構には仮設でも構わないので、橋を作つて欲しいと要求しております。

■宿区と真崎区の境でごみ集積所でない所に、ごみを捨てていく人がたいへん多い。そういう不法投棄をされたごみをボランティアが集めた場合は、分別しなくてもいいようにするとか、対策をしてもらいたい。(真崎区住民)

経済環境部長 ごみゼロ推進課でもパトロールなどの対策をとっていますが、なかなか無くなりません。現在協議中ですが、特別の回収袋を用意し、「不法投棄ゴミ回収物」というような形でごみ集積所に出すようにするということも考えています。



■東海村の花火大会は毎年、阿漕ヶ浦公園で行われてきましたが、今年の開催場所は久慈川河川敷になってしまいました。また、開催日が9月27日になったようですが、そのことについて村長はどのように考えていますか。もう一つ質問させていただきますが、コピー機の使用についてです。31枚目から1枚10円掛かるようですが、私たちの団体は100人くらいいます。資料を出すときに30枚では足りません。30枚の基準は何なのか教えていただきたい。(南台区住民)

中丸小学校区
押延区・築和間区・舟石川中丸区・
原子力機構長堀一区・
原子力機構長堀二区・緑ヶ丘区・南台区

日時●7月24日(木)・午後7時～9時
会場●中丸コミュニティセンター
司会・進行●石田正久さん(前舟石川中丸区自治会長)
参加住民数●76人

村長 東海まつりは東海まつり実行委員会が企画しており、9月27日の開催は実行委員会の考えです。河川敷では30回記念大会ということで大きな花火を打ち上げたいとのことですが、

押延区自治会長 私は実行委員会の委員です。なぜ今年は大慈川河川敷なのかですが、今年30回記念で大きな尺玉以上の花火を上げたいということで決めたわけです。日程ですが、水田も花火打ち上げ場所となるため、稲刈りが終了した時期ということ

で9月27日になりました。総務部長 ご存知のとおりコピー機の有料化は1年前の平成19年4月からスタートいたしました。なぜ村で検討したかという点、消耗品である用紙が足らなくなってしまうこと、「コピー機である」と有料化すべきとの声が住民からもあつたからです。結果的には31枚目から有料になりました。ただし、自治会とか地区委員会などが使う場合はすべて無料、ただし用紙を持ってきていただくこととなっています。有料にすることでコピー機の使用量はかなり増えました。これは、これまで個人で使えなかった人もお金を出せば使えるということになったからです。この件につきましては皆さんのご理解をいただければと思います。

■総合福祉センター「絆」と積水メディカル株式会社(旧第一化学薬品株式会社)の所に谷津田があります。ガマやアシなどで生い茂り休耕田が荒れ果てて非常に見苦しくなっております。あの辺りに雨水の遊水池を作ると聞きました。私はそこを散歩コースにしていますが、本来であれば歩くとストレスが解消されるのですが、今はうっそうとして怖いので村の所有地の管理についてどのように考えているのかお聞かせください。(緑ヶ丘区住民)

村長 今では、ガマとかアシが生えているということですが、水田の場合はそのようになってしまつてはいないでしょうか。それを手入れするのはどうなのでしょう。そこにはいろいろな虫等がいて自然のピオトープになっているのではないのでしょうか。公園面積を広げようという努力はしております。ご理解していただきたいと思ひます。

村長 今では、ガマとかアシが生えているということですが、水田の場合はそのようになってしまつてはいないでしょうか。それを手入れするのはどうなのでしょう。そこにはいろいろな虫等がいて自然のピオトープになっているのではないのでしょうか。公園面積を広げようという努力はしております。ご理解していただきたいと思ひます。

介護保険推進全国サミット

第9回 in とうかいむら

出会い・ふれあい・支え合いを目指した
新しいサービスの創造

連載その②



開催まで
(9月10日から数えて)
36日

イメージキャラクター
「(元気に生きる)いもジイ」が
皆さんをお待ちしています

来る10月16日(木)と17日(金)の2日間にわたり、東海村で開催される第9回「介護保険推進全国サミット in とうかいむら」。先月・8月10日に発行の「広報とうかい」(6・7ページ)でもご案内のとおり、介護保険推進全国サミットとは、平成12年の介護保険制度導入前より注目されてきた「高齢者介護のあり方」に関する先進的取り組みの研究や意見交換を行い、地域住民・介護サービス事業者・行政がそれぞれの役割や連携方法などを導き出していくことが、国内各地で毎年1回開かれてきたもの——特に今回の、県内初めてのサミットを通して、東海村として、過去に取り上げられることのない「サービスメニューの検証と今後のあり方」に着目し、今後の介護サービスの可能性について多くの皆さんとともに考え、全国に向けてその成果を発信していく予定です。

そこで今月の「広報とうかい」では、このサミットへの参加方法を中心にご紹介いたしますので、皆さんお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

住民の皆さんのご参加に当たっては、「通常の申し込み」のほか、村

サミット参加申し込みの方法 ■ 9月19日(金)締め切り

A/通常の申し込み(参加費3000円)

サミットウェブサイトに掲載または事務局(福祉部介護福祉課)に備え付けの「第9回介護保険推進全国サミット in とうかいむら参加登録申込書」に必要事項を記入の上、(株)JTB関東・法人営業水戸支店「第9回介護保険推進全国サミット in とうかいむら」係(〒310-0803 水戸市城南1-1-6 サザン水戸ビル2階 ☎225局5233 FAX 226局4017)あて郵送またはファクシミリで申し込みください。なお、申込者には、資料集と大会記録集、サミット二日目(17日)の昼食が配られます。

サミット開催日の駐車場についてご案内します。なお当日は、全国から多くの来場が見込まれるため、できる限り公共交通機関等での来場にご協力ください。

「A/通常の申し込み」の申込者のうち、乗用車で来場される方には、東海文化センター周辺の駐車場(第1・第2・第3駐車場)にご案内します(事前に駐車券を発行します)。

内在住の方を対象とした参加無料の「聴講のみの申し込み」をご用意しました。

B/聴講のみの申し込み(参加無料)

村内在住の方に限り、基調・特別講演やパネルディスカッション、分科会の聴講のみの申し込み(資料集と大会記録集の配布はありません)を受け付けますので、サミット事務局(福祉部介護福祉課)へ電話 ☎282局1711 内線1165)またはお越しの上、申し込みください(サミット二日目の昼食を希望される場合は1000円をご用意ください)。なお、上記A/通常の申し込み」が多数の場合、当日は屋外特設会場(大型テレビによる中継会場)へのご案内となることがあります。

一方「B/聴講のみの申し込み」の方には、第4・第5駐車場を開放します。
【駐車場案内】▼第1駐車場：ふれあいの森公園(東海文化センター裏側)▼第2駐車場：村立図書館(南西側空き地)▼第3駐車場：中央公民館▼第4駐車場：なごみ・総合支援センター(東側空き地)▼第5駐車場：総合福祉センター「絆」※第4・第5駐車場から各会場までは無料のシャトルバスを運行します。

16日(木)・午後1時～午後4時30分	
▼開会式	13:00 ～13:15
▼基調講演 テーマ■ 「新しいサービスの創造」 講師■ 堀田力さん(財団法人さわやか福祉財団理事長) 会場■ 東海文化センター(ホール)	13:20 ～14:20
▼パネルディスカッション テーマ■ 「サービスメニューの検証と新しいメニューの創造」 コーディネーター・パネリスト■ 村田幸子さん(福祉ジャーナリスト) 藤原茂さん(夢のみずうみ村代表) 池田省三さん(龍谷大学教授) 堀田聰子さん(東京大学特任准教授) 大島一博さん(内閣府政策統括官付参事官) 会場■ 東海文化センター(ホール)	14:30 ～16:30
▼レセプション・交流会 会場■ JAひたちなか・東海会館 参加費■ 3,000円 ※希望者のみ、サミット参加申し込みとは別に申し込みください。	17:30 ～19:30

17日(金)・午前9時30分～午後3時30分	
▼第1分科会 テーマ■ 「認知症のケアはこれでいいのかわ?」 —早期発見・早期対応に向けて— 会場■ 東海文化センター(ホール)	9:30 ～11:30
▼第2分科会 テーマ■ 「豊かな経験を生かした新しい地域づくり—住民主体の地域サービスとは?」 会場■ 総合福祉センター「絆」(多目的ホール)	9:30 ～11:30
▼第3分科会 テーマ■ 「保健・医療・福祉の連携におけるサービスの一体化」 会場■ テクノ交流館「リコッティ」(多目的ホール)	9:30 ～11:30
▼分科会まとめ (分科会コーディネーターによる報告)	13:00 ～13:40
▼特別講演 テーマ■ 「医療・介護・福祉サービスの改革—社会保障のゆくえ」 講師■ 大森彌さん(東京大学名誉教授) 会場■ 東海文化センター(ホール)	13:50 ～15:00
▼閉会式	15:00 ～15:30

10月16日・17日の2日間にわたる日程の中では、基調・特別講演やパネルディスカッション、分科会など、多彩なプログラムのほか、講師やコーディネーター・パネリスト、国内

各地からの多くの来場者と住民の皆さんの情報交換の場として、「レセプション・交流会」の開催を予定しています。なお、8月10日発行の「広報とうかい」にも同様の記載がありますので、併せてご覧ください。

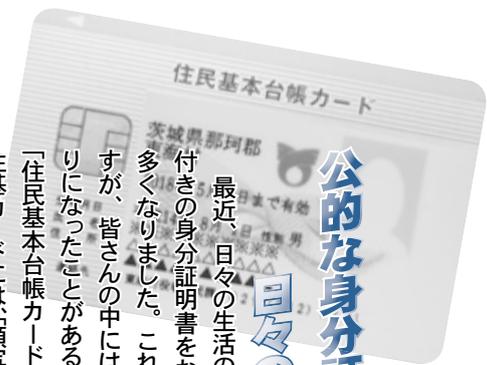
第9回介護保険推進全国サミットinとうかいむら「実行委員会事務局(福祉部介護福祉課内) 282局1711・内線1005 ウェブサイトhttp://www.vill.tokai.ibaraki.jp/fokai2008/fop.htm

・石川誠さん▼(社)茨城県薬剤師会
ひたちなか支部…副支部長・埴真也さん▼(社)茨城県看護協会…会長
・村田昌子さん▼(社)茨城県理学療法士会…会長・佐藤弘行さん▼ひたちなか介護支援専門員協会…会長
・内田敬紀さん▼社会福祉法人東海村社会福祉協議会…会長・黒羽根弘一さん▼東海村自治会連合会…副会長・坪洋右さん▼東海村民生委員

【実行委員会委員(順不同)】▼茨城県…保健福祉部長寿福祉課長・齋藤勉さん▼(社)茨城県医師会…常任理事・西野弘美さん▼(社)茨城県那珂医師会…会長・尾形孝さん▼村立東海病院…医師・大場義幸さん▼(社)東海村歯科医師会…会長
・小野寺紀夫さん▼東海村ボランティア市民活動センター「えがお」…運営委員会委員長・川松文夫さん▼NPO法人「茶葉茶の間」…代表理事・岡部ちい子さん▼NPO法人「下りたんぼ」…代表理事・中村朋子さん▼NPO法人・東海村障がい者地域生活自立支援ネットワーク「まつぼっくり」…理事長・大串稔さん▼東海村地区社会福祉協議会…連絡会会長・井上義明さん▼東海村商工会…事務局長・宮内隆至さん▼ひたちなか農業協同組合…生活福祉課長・吉成みつ江さん▼独立行政法人日本原子力研究開発機構…東海研究開発センター長代理・吉田東雄さん▼福祉自治体ユニット…事務局長・菅原弘子さん▼東海村(実行委員長)…村長・村上達也

「介護保険推進全国サミットinとうかいむら」は、実行委員会を組織し、開催に向けた準備を進めています。サミット開催に当たっては、地域の誰もが共に理解し合い、助け合うまちづくりに向けた議論を展開し、その成果を全国に発信するという目標達成のため、村内外の保健・医療・福祉関係機関・団体等により実行委員会を組織して、幅広い意見を取り入れながら準備を進めています。

・児童委員協議会…会長・岸三男さん▼東海村高齢者クラブ連合会…会長・川又政美さん▼東海村健康づくり推進協議会…委員・根本一成さん▼東海村食生活改善推進員連絡協議会…会長・本多真知子さん▼東海村文化協会…会長・須藤浩三さん▼東海村地域包括支援センター…運営協議会副会長・鴨志田美幸さん▼東海村ボランティア連絡協議会…会長・小野寺紀夫さん▼東海村ボランティア市民活動センター「えがお」…運営委員会委員長・川松文夫さん▼NPO法人「茶葉茶の間」…代表理事・岡部ちい子さん▼NPO法人「下りたんぼ」…代表理事・中村朋子さん▼NPO法人・東海村障がい者地域生活自立支援ネットワーク「まつぼっくり」…理事長・大串稔さん▼東海村地区社会福祉協議会…連絡会会長・井上義明さん▼東海村商工会…事務局長・宮内隆至さん▼ひたちなか農業協同組合…生活福祉課長・吉成みつ江さん▼独立行政法人日本原子力研究開発機構…東海研究開発センター長代理・吉田東雄さん▼福祉自治体ユニット…事務局長・菅原弘子さん▼東海村(実行委員長)…村長・村上達也



公的な身分証明書「住民カード」を

日々の暮らしで活用しよう

最近、日々の生活の中で「自動車運転免許証とか、顔写真付きの身分証明書をお持ちですか？」などと聞かれることが多くなりました。これは、本人確認のために行われるのですが、皆さんの中には、「顔写真付きの物がなくて…」とお困りになったことがある方もいるのではないのでしょうか。そこで、「住民基本台帳カード」(住民カード)の取得をお勧めします。住民カードには、「顔写真なし」と「顔写真付き」の2つがあり、いずれも有効期間は10年、特に「顔写真付き」を取得しておけば、自動車運転免許証などと同様、公的な身分証明書として使用することができます。

住民カードの取得に必要な物 ①認め印(スタンプ式は不可) ②顔写真(顔写真付きの取得を希望する場合で、住民課窓口での顔写真撮影(無料)を利用しない方は6か月以内に無帽・無背景で正面から撮影した顔写真(縦4.5cm×横3.5cm)を持参) ③顔写真付きの公的な身分証明書(自動車運転免許証やパスポートなどをお持ちでない方は交付までに日にちを要します) ④交付手数料(500円)——を「用意ください」。

住民カードとインターネットで行政手続きが可能に 住民カードのICチップに電子証明書(住民基本台帳に記載の氏名等をオンラインで確認するための情報)を記録することで、「公的個人認証サービス」として、自宅等のパソコン(ICカードリーダー/ライタを要接続)からインターネットを通じ、住民票の写しの交付請求や国税等の電子申告・納税などができようになります。

お問い合わせ 福祉部住民課住民担当 ☎282局1771 内線1124 ※9月22日(月)は、「公的個人認証サービス」のシステム更新作業のため、電子証明書の発行などが終日できません。詳しくは、ウェブサイト「公的個人認証サービスポータルサイト」(<http://www.jpki.go.jp/>)をご覧ください。

なごみセンター

なごみ・総合支援センターで実施の介護予防事業のご紹介も今月で5回目、今回の「なごみチャネル」では、認知症予防教室「なごみ大学」を取り上げるほか、「もの忘れ検診」の助成と第9回「介護保険推進全国サミット」について「なごみ」で催される認知症に係る分科会(パネルディスカッション)についてご案内します。なお、なごみ・総合支援センターで実施の介護予防事業は、65歳以上介護保険の要支援・要介護認定者を除くので、村の総合検診や住民検診で生活機能評価の結果、「介護予防事業へ参加する必要がある」とされた方を対象に行われています。

認知症予防教室「なごみ大学」

認知症とは、いったん発達した知能が脳や体の病気などによって、日常生活に支障を来すまで低下する状態のこと。認知症の治療方法はまだ確立されていませんが、認知症に係る危険因子が次々と明らかになってきていることもあり、生活習慣を変えていくことで予防できる可能性があると考えられています。従って、例えば①不規則な生活リズム②偏食③運動不足④周囲に無関心⑤物事に興味を持たず無気力⑥外出の機会減少⑦考えることが億劫——などにご心当たりがある人は認知症発症の恐れがありますので、本人はもとより、家族の方なども注意・改善をしようとしてみましょう。なお、「なごみ大学」では、脳トレ・音楽・工作・手芸・美術・料理・体操・リクリエーション等の教室を開催しています。自らの目標を定めて計画的に参加することで規則的な生

活を送ることができるようだけでなく、知識や技能も身に付けられます。また、介護予防に関心がある仲間とも交流できますので、外出の楽しみも自然と増えるようになります。

皆さんも、生きがいのある充実した日常生活を送ることで、認知症の予防に心掛けましょう。

「なごみ大学」の指導者・支援ボランティアを募集
指導者 ■自らの知識や技術・資格を生かして授業を実施してくれる方(時給1000円)
支援ボランティア ■教室参加者の支援等を行いながら、一緒に授業を受けてくれる方

「もの忘れ検診」の受診費用を助成します

村では、65歳以上の高齢者が指定医療機関で「もの忘れ検診」を受けたときに掛かる費用の一部を助成しています。この制度を利用すると、受診者の自己負担は、一次検診が一律200円、二次検診では医療保険・国民健康保険や政府・組合管掌健康保険等の被用者保険による一部負担金とその2割に減額できますので、ぜひ申し込みください。

認知症がテーマの討論会を10月17日(金)に

「介護保険推進全国サミット」について「なごみ」では、認知症に着目した分科会「認知症のケアはこれでいいの?」早期発見・早期対応に向けて」を予定しています。時間は午前9時30分から11時30分まで、会場は東海文化センターです。多くのご参加をお待ちしていますので、介護福祉課 ☎282局1771 内線1165(まで)申し込みください。

問合せ なごみ・総合支援センター(福祉部介護福祉課地域支援室 ☎287局2525)

平成20年度「茨城県原子力総合防災訓練」を

9月30日(火)・午前8時30分から実施します

訓練の概要

日時▼9月30日(火)・午前8時30分～午後1時30分

訓練想定▼原子力災害等が発生したときに備え、国や茨城県、東海村ほか周辺市町村、警察・消防、防災関係機関が相互に連携し、防災業務関係者の災害対応能力向上と地域住民の安全確保、その一層の強化を図り、被害を最小限に抑えるための災害応急対策訓練として、大きく次の2つの対応に分けて行います。

第1部(大規模地震災害対応)：茨城県沖で震度6強の地震が発生し、日本原子力発電(株)東海第二発電所内で火災が発生したとの想定で、茨城県原子力オフサイトセンターに政府現地対策本部を設置し、地震の影響による県内の原子力事業所被害状況に係る情報収集などを行うほか、発電所の自衛消防隊による消火訓練を行います。

第2部(原子力災害対応)：東海第二発電所で放射性物質の放出を伴う原子力緊急事態が発生したとの想定で、自家用車を使っての避難訓練と交通規制

制・警戒警備訓練、災害時要援護者や陸上自衛隊ヘリコプターによる発電所職員の避難訓練、避難者の表面汚染検査等をはじめとする救護所・避難所の設置運営訓練などを行います。

訓練実施場所①

- 原子力災害対策本部：茨城県庁、東海村役場(行政棟5階・災害対策本部室)、ひたちなか市・那珂市・日立市・常陸太田市の各市役所
- 緊急事態応急対策拠点施設：茨城県原子力オフサイトセンター(ひたちなか市西十三奉行11601番12)
- 訓練対象事業所：日本原子力発電(株)東海第二発電所
- 救護所・避難所：笠松運動公園・体育館



- ⑤ 二次被ばく医療機関：国立病院機構・水戸医療センター(茨城県)
- ⑥ その他：国立病院機構・茨城県病院(病院職員を入院患者に見立てた災害時要援護者避難訓練を実施)

住民の皆さんへ

交通規制にご協力ください(左上図参照)▼自家用車による避難訓練の実施に伴い、笠松運動公園近くの「かえて通り」(通称「マラソン道路」)で、午前10時30分から1時間程度、交通規制(一方通行)を実施します。住民の皆さんには、ご不便をお掛けしますが、この時間は、一般車両の通行が一部制限されますので、迂回路として「もみじ通り」をご利用ください。※自家用車による避難訓練は、独立行政法人日本原子力研究開発機構の職員などを対象に、午前10時30分から行う予定です。

防災行政用無線によるサイレン吹鳴や通信、防災ヘリコプターの飛行へのご理解をお願いいたします▼訓練当日は、村の防災行政用無線(村内62か所の屋外子局と各戸配布の戸別受信機)によるサイレン吹鳴や住民広報活動訓練としての数回にわたる「随時通信」、防災ヘリコプターの飛行・離着陸を予定しています。実際の事故と誤解しないようご注意ください。

お問い合わせ

東海村経済環境部原子力対策課原子力・防災担当(☎282局1711・内線1519)、茨城県生活環境部原子力安全対策課(☎301局2922)、茨城県ひたちなか西警察署(☎272局0110)

平成19年度実績報告

役場における環境への取り組み状況をお知らせします

地球温暖化やオゾン層の破壊、森林の減少等によって“環境”という問題が地球規模で注目され始め、これらの対策として、人類の将来をも視野に入れ、地球全体のことを考え行動することが求められるようになって久しく経ちます。

村では平成14年3月、「東海村環境基本条例」に定める良好な環境の保全・創造という基本理念の実現に向けて、地球環境の保全や循環型社会の構築などの環境施策を総合的・計画的に推進するための「東海村環境基本計画」を策定する一方、役場の全組織・全職員が率先して環境活動に取り組むための「とうかいエコオフィスプラン（東海村地球温暖化対策実行計画）」を策定し、地域としての持続可能性を高め、環境負荷の低減に努めてきました。

今月は、これら2つの計画の平成19年度実績がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

「東海村環境基本計画」に係る取り組み

「東海村環境基本計画」には、「東海村第4次総合計画」（“人・自然・文化が響き合うまち”という「東海村の将来像」の実現に向け、その方向性を体系化した“まちづくりの指針”）に定める政策・施策・事務事業を環境面から取り組む施策が設定されており、平成19年度は186件の村の取り組み（基本施策）が該当しました。そのうち、予定以上進んだものには、住民の皆さんの理解と積極的な協力があって実現した“ごみ有料化（指定ごみ袋等の導入）”“資源物分別回収の充実”のほか、軽油の代替燃料として注目される“BDF（バイオディーゼル燃料）の利用実現”などがあります。なお、東海村公式ホームページの「東海村の環境への取組について（平成19年度実績）」（<http://www.vill.tokai.ibaraki.jp/kankyou/>）には、186件すべての基本施策の進行状況を客観的に評価したものが掲載されていますので、併せてご覧ください。

「第2次とうかいエコオフィスプラン」の取り組みで1,300万円の経費を節減

下表は、平成19年度から平成23年度までの5年間を計画期間とする「第2次とうかいエコオフィスプラン」における“エコオフィス活動”9項目の取り組み状況です（表内の「△」はマイナスを表します）。“エコオフィス活動”とは、村の公共施設や事務事業に伴って排出される温室効果ガス（二酸化炭素）の排出抑制に配慮する行動のことで、平成19年度の二酸化炭素排出量は基準年（平成17年度）の8,382トンに比べ4.4%減の8,016トン、また、コスト的には基準年に比べ差し引き13,143.9万円の削減につなげることができました。なお、二酸化炭素排出量は、電気・ガソリン・軽油・灯油・A重油・LPG・可燃ごみの7項目の使用・排出量に既定の“排出係数”を乗じて算出したもので、村では平成23年度までに対基準年で5%の削減目標を立てています。※重点取り組み項目の詳細は、東海村公式ホームページに掲載があります。

重点取り組み項目	基準年 (平成17年度)	平成19年度実績	平成19年度 削減量(対基準年)	平成19年度 増減率(対基準年)	増減コスト(千円)
電気使用量 (メガワット時/年)	17,136.0	16,629.0	△ 507.0	3.0%減	△ 11,154.0
ガソリン使用量 (キロリットル/年)	64.8	62.7	△ 2.1	3.2%減	△ 266.7
軽油使用量 (キロリットル/年)	23.1	19.3	△ 3.8	16.5%減	△ 410.4
灯油使用量 (キロリットル/年)	148.8	110.4	△ 38.4	25.8%減	△ 2,803.2
A重油使用量 (キロリットル/年)	167.0	198.2	31.2	18.7%増	2,246.4
LPG(液化石油ガス)使用量 (立方キロメートル/年)	28.1	26.1	△ 2.0	7.1%減	△ 680.0
可燃ごみ排出量 (トン/年)	262.0	211.0	△ 51.0	19.5%減	—
水道水使用量 (立方キロメートル/年)	161.0	161.0	0.0	0.0%	0.0
コピー用紙購入量 (千枚/年)	6,642.0	6,547.0	△ 95.0	1.4%減	△ 76.0
二酸化炭素排出量 (トン/年)	8,382.0	8,016.0	△ 366.0	4.4%減	—

経済環境部環境政策課環境計画推進室 (☎ 282-1711・内線 1454 電子メール kankyou@vill.tokai.ibaraki.jp)

村と指定管工事業協同組合が 災害時協力協定を締結



協定の締結に際し、固い握手を交わす村上村
長(左)と協同組合理事長の戸田喜八郎さん

村では8月27日、東海村指定管工事業協同組合(理事長・戸田喜八郎さん)との間で、「災害時の応急給水及び復旧工事に関する協定」を締結しました。この協定は、地震等の災害によって水道施設に被害が発生し、村内への給水に支障が生じたときなどに、給水車や給水タンク・給水袋等による応急給水や水道施設の復旧工事に関し、村が協同組合に対し協力を要請し、飲料水の迅速・安定的な供給を確保しようというもの。協定の締結に際し村上村長は、「万が一の災害時、いざというときにライフライン(人の生活・生命を維持し社会・経済活動を支える水道・電気・ガス・通信網などの「生命線」)に関する協定を締結できたことは、村としても心強いこと」と話し、戸田さんと固い握手を交わしました。

東海村管工事業協同組合は、村指定給水装置工事事業者のうち12事業者で構成され、村の給水区域内に安全に水を供給するため、給配水管の保全・修理を行っている団体。災害時に限らず、水道の漏水や故障があったときは、水道課または協同組合までお問い合わせください。

【問合せ】建設水道部水道課工務担当(☎287局1711 内線1155)、東海村指定管工事業協同組合(☎287局0136)

国民年金 付加保険料を納 だより 付しませんか



平成20年度の老齢基礎年金の年金額は、40年間保険料を納めた場合、満額で79万2100円ですが、老後により多くの年金を受けたいという方のために、「付加年金制度」があります。毎月の国民年金保険料(平成20年度は1万4410円)に付加保険料(月額400円)を上乗せして納付すると、付加年金が老齢基礎年金に上乗せして支給される仕組みです。また、付加保険料は全額が社会保険料控除の対象となります。なお、保険料の免除または納付猶予を受けている方や、国民年金基金に加入している方は、付加保険料を納めることはできません。《計算》付加年金額 200円×付加保険料納付月数(65歳から受給のとき) つまり、保険料月額400円に対して年金額は200円ですから、1年間付加保険料を納付した場合、65歳から年金を受けるとして、2年間で付加保険料相当分の年金を受け取ることができる計算になります。

● 問合せ 福祉部保健年金課国民年金担当
(☎282局1711 内線1133)

ねんきん特別便に関する相談会

- 期 日 9月25日(木)
- 場 所 東海村役場2階 205会議室
- 持参する物 ねんきん特別便、年金証書ほか
- ※代理の方は委任状が必要となります。
- 申し込み 9月17日水の午前8時30分以降に
保健年金課へ電話で申し込みください(先着15人)。

環境を考える「とうかいキャンドルナイト2008」 1500本のキャンドルが幻想的な空間をつくりました

8月23日、とうかい環境フォーラム実行委員会主催による「とうかいキャンドルナイト2008」が1500本のキャンドルに彩られ、役場中庭「ふれあい広場」で開催されました。開会に際し実行委員長の久保田昌宏さんは、「環境問題は心の問題でもある。エネルギーの無駄遣いなど、この癒やしの空間を環境について考える機会としたい」とあいさつ。会場を訪れた家族連れなどの参加者は、キャンドルにともされた幻想的な明かりを見つめながら、思い思いにゆったりとしたひとときを過ごしました。



また、会場ではキャンドルヨガやエコへの思いをつづった短冊コーナー、ステージではハーモニカやオカリナの演奏、フラダンスなどが行われました。今回で3回目となったこの「キャンドルナイト」。実行委員会では、未来の地球や環境についてあらためて考えるきっかけとなり、少しでも多くの方に環境について関心を持っていただければと話しています(来年2月には「とうかい環境フェスタ」を開催予定しています)。

【問合せ】経済環境部環境政策課環境計画推進室(☎282局1711 内線1453)



ず〜むあつぱ 「まちの風景」

東海村白方の NPO 法人「東海村菜の花エコプラン」(代表・藤井学昭さん)では8月22日、百塚保育所の5歳児 21 人を招き、白方コミュニティセンターと保育所で菜種の搾油・試食会を行いました。搾油したのは、法人自らが村内で無農薬・有機栽培した菜種。卓上の搾油機から搾り出される菜種油やマヨネーズ作りを見学・体験した児童は、菜種油を使い、からっときつね色に揚げられた野菜のてんぷら(かき揚げ)を給食で楽しみました。法人によれば、栽培した菜種は「キラリボシ」という品種で、昔ながらに圧力をかけるだけで搾るため、体にも良いとされるオレイン酸やビタミンE、カロチンを多く含むとか。近く年内には、県立水戸農業高等学校(食品化学科)の協力で瓶詰めされた菜種油を「東海村ナタネ・菜の花しぼり」という名称で販売することを目指しているそうで、法人設立の目的である、主に菜種油の学校給食等への提供などを通しての食の安全と“地産地消”の実現、環境に配慮する地域づくりも軌道に乗りつつある様子。法人で理事を務める岡崎英夫さんをはじめ、参加した法人会員 12 人も、この日の取り組みに手応えを感じていたのが、それぞれの表情も生き生きと輝いているように見えました。

●菜種を搾って、てんぷら試食。“菜の花エコプラン”活動



●三世代はつらつ! 内宿一区でラジオ体操

内宿一区自治会(自治会長・岡部正人さん、562戸)では、ラジオ体操を通して健康増進と交流づくりを図ろうと、小・中学校が夏休みとなる毎朝、地区内9か所で「三世代はつらつラジオ体操の会」を開催——8月30日の「光と風の広場」(役場庁舎・西側)における全地区集まっの締めくくり「全体会」には、300人を数える子どもたちや大人が続々と集まり、中には村上村長の姿も…。午前6時30分のラジオ放送を合図に一斉に体操が始められた会場では、参加者それぞれに“新しい一日の始まり”を実感したようで、最後にあいさつに立った村長も、「内宿一区のこの取り組みを村内に広げていければ…」と話し、その効果のほどに満足していました。

●体験しました! 不思議で楽しい科学の世界

8月20日、第7回「科学の祭典・東海村子ども科学広場〜おもしろ科学で遊ぼう〜」が中央公民館で開催され、小学生や父兄等約3,100人が詰め掛けました。これは実験や工作を通して子どもたちに科学を楽しんでもらおうというもの。バイオテクノロジーの世界で応用されている皮膜と同じ“人工イクラ”を作ったり、色とりどりのビーズを筒状のガラス板に入れて万華鏡を作ったりしました。鉄くぎにエナメル線を巻いて作った電信機に電気が流れると、取り付けたビール瓶の王冠が鉄くぎの頭に“ツートントン”。「モールス信号」の原理を目の当たりにすると興味深く何度もスイッチを押しているようでした。



STATION GALLERY

- 開館時間 午前10時～午後7時
- 場 所 JR東海駅(駅舎2階)
- 問 合せ 東海ステーションギャラリー(☎287-3680)

全日本写真連盟ひたちなか支部 第31回写真展

9月14日(日)～9月20日(土)

ひたちなか市とその近郊に在住する写真愛好家による写真展です。四季折々の被写体を求めて撮影した風景



写真やスナップ写真など、テーマを設けずに作者独自の感性を生かし撮影された1年間の作品が集結します。ぜひ、ご覧ください(最終日は午後2時まで)。

旅写真クラブ展

9月21日(日)～9月27日(土)

青森県の八甲田山や十和田湖方面の見事な新緑、静寂の中に思わず吸い込まれてしまいそうな風景、奥入瀬

溪流付近の林の中の残雪の風景など、旅先で撮影した風景写真の数々を展示します。ぜひ、ご来場ください(最終日は午後2時まで)。



描く楽しさ

～関アートスクール・デッサン塾展～

9月28日(日)～10月4日(土)

昔から多くの画家によって描かれてきた自画像——自分を見つめることにより、絵を描く上での新しい発見



を求めて描いた自画像や、今まで描きためてきた大小さまざまな油彩・水彩・デッサン・植物画などを展示します(最終日は午後2時まで)。

写仏展

10月5日(日)～10月11日(土)

ひたちなか市在住の前田展明さんによる個展です。仏像・仏画をペン画として写仏し、身近な仏画にしました。仏画像の表情や、ペン画の持つ濃淡の鮮明さと力強さをじっくりとご覧ください(最終日は午後2時まで)。



文芸とうかい

〔俳句〕

早朝の歩幅大きく青田風
東海 佐藤 とよ
夕涼み花火一閃龍昇る
舟石川 辻本 國男
藤の花返り咲きして益参り
舟石川 舛井 愛子
日の出待ち朝顔元気花咲ける
豊 白 中島エミ子
草いきれその勢いにたじたと
東海 片野 紀夫
せせらぎの音にせかるる草の笛
南 台 渋谷ひろし

カナカナと草引きせわしヒグラシや
外宿 西山 純一
霧の朝晴れて無間の帰命佛
舟石川 辻本 敏江
年ごとに痩せるペン牝豚夏見舞い
村松北 小野寺紀夫
あをあをと青霧深し青田村
村松 松本 正勝
雷神や木の葉濡らして夜明けかな
東海 伊東 幸子
さんま焼く炎に猫の後退り
白方中央 柴田 一声

〔短歌〕

大輪のひまわり咲いてその幹へゴーヤのつるが巻きついている
外宿 小林美代子

山歩き趣味なる友と来し尾瀬の木道を吾がはじめて渡る
須和間 柴山 靖子
みちのくの旅情楽しむひとときを誕生祝と娘におくられし
照 沼 佐藤 昇
出穂を待つ青田にさせる朝の日の真夏の光暑くなるらし
船場 舛井庫之助
三歳のむずかる姉を抱き上げるゼロ歳這いより抱けとからまる
外宿 高槌 すみ
かの山に亡夫訪ねて七年目枝葉おとす手杖がふえたり
内宿 村上 文江

故里は老人館となりしとぞ従兄の電話侘しくききし
南 台 根本内俊男
雄叫びを上げる球児とくずれ泣く熱きプレーが臉に残る
村松 高橋 正弘
俄にも雷雲暗くかげり来て庭の静寂に鈴虫の鳴く
舟石川 小川志つ江
ペリリユー島の帰還兵なるわが知人放映されるを驚きで見つ
村松 桜井 秀子
花終へし牡丹の元に肥料置く感謝の気持ち来年に繋ぐ
村松北 黒沢 孝子

9月の納付

納期限	平成20年9月30日(火)		
納付種別	国民健康保険税	第3期分	
	後期高齢者医療保険料	第3期分	
	里川堰土地改良区費	第3期分	

人口と世帯数

平成20年8月1日現在			
		前月比	
世帯数	13,744 世帯	+ 15	
総人口	36,469 人	+ 34	
男	18,338 人	+ 17	
女	18,131 人	+ 17	

お知らせ・ピックアップ

いんぽお めーしょん

役場の
電話番号 ☎ 282-1711(代表)

第30回 記念 東海まつり 花火大会

9月27日(土)
午後7時～8時30分
久慈川河川敷
〔留大橋〕東海側

※雨天時は翌日28日(日)に延期となります。

シャトルバスの運行(午後4時30分～9時30分)

■ルート ①東海駅東口⇄長松院駐車場 ②東海文化センター⇄長松院駐車場 ③役場⇄長松院駐車場

■料金(協賛金) 片道100円(小学生以下無料)

※会場周辺の渋滞緩和にご協力ください。

ボランティアの募集

■当日の警備・シャトルバス運行管理・協賛者

対応・片付け(午後1時～11時)

■翌日の清掃(午前7時～9時)

交通規制図

規制時間

(通行止め)	午前8時30分～午後10時
(通行止め)	午後5時30分～午後10時
(一方通行)	午後5時30分～午後10時



⊗ 花火打ち上げ地点 □ 立ち入り禁止エリア P 駐車場 ■ トイレ
○○○ 協賛者・招待者観覧席 ●●● 一般観覧席

申し込み・問合せ ● 東海まつり実行委員会事務局(合同庁舎4号館内) ☎283-2141 <http://tokai-fes.com/>

注1: 交通規制前の道路部分の場所取りは禁止します(場所取りしたシートなどは撤去します)。

注2: 県道日立東海線の一般観覧席へは待機所から午後5時30分以降順次入場となります(事前の場所取りはできません)。

注3: 会場内における許可のない事業や私的な催しは認められませんので、ご注意ください。



東海村自治基本条例(案)地域説明・意見交換会参加者募集

地方分権の拡大に伴い、“東海村のことは東海村で決めよう”と、「東海村自治基本条例(案)」の検討・策定に取り組む「東海村自治基本条例策定委員会」(委員長・坪洋右さん)では、住民の皆さんを対象とする「東海村自治基本条例(案)地域説明・意見交換会」を右表の日程で開催します。自治基本条例とは、住民・議会・行政それぞれの役割や住民参加の仕組みを定めた“自治体の最高規範”ともいべきもので、この制定により、“住民が主役のまちづくり”を進め、一人ひとりの満足度が高められていくことが期待されています。委員会では、多くの皆さんと意見交換を行い、寄せられた意見等を以降の策定過程の中に反映させ、平成21年の制定を目指し、まとめていく予定ですので、奮ってご参加ください。

開催日時	会場
9月20日(土) 19:00～21:00	舟石川コミュニティセンター
9月21日(日) 19:00～21:00	白方コミュニティセンター
9月24日(水) 19:00～21:00	中丸コミュニティセンター
9月25日(木) 19:00～21:00	真崎コミュニティセンター
9月26日(金) 19:00～21:00	村松コミュニティセンター
9月30日(火) 19:00～21:00	石神コミュニティセンター

■**条例案に係る意見公募手続き(パブリックコメント)** 9月30日(火)まで、条例案に係る意見等を募集します。条例案は、役場(自治推進課)と各コミュニティセンターに設置のほか、村公式ホームページ(<http://www.vill.tokai.ibaraki.jp>)で公開していますので、多くのご意見をお寄せください。

■**問合せ** 総務部自治推進課自治推進担当(内線1341)

看護職再就業支援研修受講生募集

長期間にわたって看護職(看護師・准看護師)から離れており、看護職への再就業を希望する未就業の方を対象とする研修が行われます。

■日程等

期日	時間	内容
11月11日(火)		講義…看護の基本・基礎
11月12日(水)	午前9時30分	実技実習Ⅰ
11月13日(木)	～午後3時30分	実技実習Ⅱ
11月18日(火)		講義…関係法規ほか
11月から平成21年2月の間 で3日間	医療施設見学実習…実習日・日程等は施設と相談の上、決定します。	

■**場所** 日立メディカルセンター看護専門学校(日立市高鈴町1-4-10)ほか

■**定員** 20人程度 ※応募者が5人に満たない場合は医療施設見学実習のみとなります。

■**受講料** 無料 ※保険料(500円/人程度)が掛かります。

■**申し込み・問合せ** 10月10日(金)までに、日立メディカルセンター看護専門学校(☎0294-59-3200)へ申し込みください。※医療施設見学実習のみを受けることもできます。

募集

「地域に福祉を築こう講演会」参加者募集

東海村における今後の地域福祉の在り方や新たな手法について一緒に考えてみませんか。

■**日時** 10月4日(土) 午後1時30分～3時50分(開場:午後1時)

■**場所** 総合福祉センター「絆」

■**定員** 先着150人

■**入場料** 無料

■**内容** ①基調報告「地区社協活動における今後の課題」…井上義明さん(東海村地区社会福祉協議会長連絡会会長) ②講演「地域福祉をすすめる3つの力とは～想いを行動へ新たな地域福祉の時代を～」…講師:平野隆之さん(日本福祉大学社会福祉学部教授)

■**申し込み・問合せ** 社会福祉法人東海村社会福祉協議会(☎282-2804)へ電話で申し込みください。

「ノーマイカーデーいばらき」参加事業所募集

茨城県公共交通活性化会議では、公共交通の維持・確保および環境負荷の軽減に配慮した通勤の促進を目的に、通勤時のマイカー利用を自粛する取り組み―「ノーマイカーデーいばらき」を実施するに伴い、参加事業所を募集します。

■**対象日** 10月の毎週水曜日 ※対象日から事業所ごとに希望する実施日を選択できます。

■**対象** 県内に事業所を有する企業・団体・官公庁やその支所・営業所等

■**申し込み・問合せ** 9月25日(木)までに茨城県公共交通活性化会議事務局(茨城県企画課交通対策室内 ☎301-2536)へ申し込みください。※ウェブサイト<http://www.koutsu-ibaraki.jp>も併せてご覧ください。

子育て支援「こどもの森親子ランド」会員募集

ふれあい遊びやリズム遊びなどの活動を行う「こどもの森親子ランド(後期)」に参加しませんか。

■**期日** 原則として10月から平成21年2月までの毎月第2木曜日または第3木曜日

■**時間** 午前9時30分～11時

■**場所** サンフラワーこどもの森保育園

■**対象** 第2木曜日(先着20組)…1歳児(平成18年10月～平成19年9月生まれの幼児)とその保護者 第3木曜日(先着20組)…2歳児(平成17年10月～平成18年9月生まれの幼児)とその保護者

■**参加費** 500円/組

■**申し込み・問合せ** 1歳児は9月24日(水)、2歳児は9月25日(木)のそれぞれ午前10時以降に、サンフラワーこどもの森保育園(☎287-7111)へ電話で申し込みください。

「グラウンドゴルフ東海大会」参加者募集

高齢者による、“生きがいづくり”や“健康づくり”のための活動を茨城県知事より委嘱されたボランティア団体「県北地域高齢者はつらつ百人委員会」の主催による「グラウンドゴルフ東海大会」が開催されます。参加は無料、初心者大歓迎ですので奮って申し込みください。

■日 時 10月8日(水) 午前9時～午後1時

■場 所 阿漕ヶ浦公園(ホッケー場)

■対 象 おおむね60歳以上の方(120人)

■申し込み・問合せ ①名前②お住まいの市町村名③電話番号④グラウンドゴルフ用スティックの有無—を記載の上、9月24日(水)までに井坂正一さん(☎・FAX282-8878)へファクシミリで申し込みください。※当日は昼食・飲み物・帽子・タオルなどを持参してください。

9月の休日診療日程

診療時間 午前9時30分～正午、午後1時～2時

期日	病医院名	電話番号
14日(日)	村立東海病院	282-2188
15日(月)	茨城東病院	282-1151
21日(日)	村立東海病院	282-2188
23日(火)	東海クリニック	283-1711
28日(日)	東原クリニック	283-2301

救急医療機関をお探しのときは… 電話番号

茨城県救急医療情報コントロールセンター
(毎日・24時間対応) 241-4199

茨城子ども救急電話相談(毎日・午後6時30分～10時30分)
254-9900

電話番号 # 8000 (プッシュ回線用加入電話、
携帯電話 NTTDoCoMo・KDDI・SoftBank)

参加費
350円/包

NPO法人「楽楽茶の間」主催 生きがいづくり支援事業参加者募集

NPO法人「楽楽茶の間」が村からの委託を受けて行う「生きがいづくり支援事業」に参加し、健康体操やレクリエーションを通して楽しく仲間づくりをしませんか。

■日 程 等

期 日	場 所
9月16日(火)	なごみ・総合支援センター
	石神コミュニティセンター
	外宿2区集会所
9月18日(木)	白方コミュニティセンター
10月2日(木)	白方コミュニティセンター
10月7日(火)	なごみ・総合支援センター
	真崎コミュニティセンター
10月14日(火)	なごみ・総合支援センター
	舟石川コミュニティセンター

■時 間 午前10時～午後3時

■対 象 村内在住で65歳以上の方

■問 合 せ 岡部ちい子さん(NPO法人「楽楽茶の間」代表 ☎284-0215)

参加費
無 料

子育て支援「ピーターパンサークル」会員募集

遊びやリズム体操を通して、子ども同士や、保護者同士の交流を深めませんか。

■期 日 10月から3月までの毎週火曜日～金曜日の各曜日 午前9時45分～11時30分

■場 所 おおぞら保育園

■対 象 火曜日または水曜日(各先着50組)…1歳児(平成18年4月～平成19年3月生まれの幼児)とその保護者 木曜日または金曜日(各先着50組)…2歳児(平成17年4月～平成18年3月生まれの幼児)とその保護者

■申し込み・問合せ 火曜日希望の方は9月30日(火)、水曜日希望の方は10月1日(水)、木曜日希望の方は10月2日(木)、金曜日希望の方は10月3日(金)のそれぞれ午前10時以降に、おおぞら保育園(☎287-3535)へお越しの上、申し込みください。※定員になるまで随時受け付けを行います。

参加費
1,800円/人

脳骨筋健康体操教室参加者募集

脳を刺激し活性化させながら筋力アップを図る、脳骨筋健康体操教室を開催します。

■期 日 10月7日・21日・28日、11月4日・11日・18日、12月2日・9日、平成21年1月6日・13日・20日、2月3日・10日・17日、3月3日・10日・17日・24日のそれぞれ火曜日(全18回)

■時 間 Aクラス…午前11時～正午 ※10月28日、2月3日、3月17日は午後0時30分～1時30分となります。 Bクラス…午後1時30分～2時30分

■場 所 総合福祉センター「絆」

■対 象 村内在住でおおむね65歳以上の方

■定 員 各クラスとも先着40人

■そ の 他 初参加の方を優先します。

■申し込み・問合せ 9月13日(土)から19日(金)までに、高齢者センター(☎282-4300)へ申し込みください。

会 費
2,000円/月

「かな書道自主グループ」会員募集

親切・丁寧な指導の下、流れるように美しく、味わい深い「かな書道」に親しんでみませんか。

■活 動 日 毎月第1・第3金曜日

■時 間 午後7時～9時

■場 所 中央公民館

■講 師 富永薫さん

■申し込み・問合せ 大貫孝さん(☎283-3423)

第12回古本市ボランティア募集

村立図書館で10月26日(日)から11月2日(日)まで開催される古本市の手伝いとして、本の整理や当日の受け付けなどをお願いできるボランティアを募集します。

■期 間 9月30日(火)から11月6日(木)までの都合の良い日時

■対 象 18歳以上の方(高校生は除く)

■申し込み・問合せ 9月27日(土)までに村立図書館(☎282-3435)へ申し込みください。

「プリンスアイスワールド2008 in 笠松」

トリノオリンピック金メダリストの荒川静香さんをはじめ、トップスケーターたちが華麗な滑りを披露します。ぜひ、ご来場ください。

- 期 日 11月15日(土)・16日(日)
- 時 間 ①午前11時30分～午後1時30分
②午後3時30分～5時30分(各日2回公演)
- 場 所 笠松運動公園(屋内水泳プール兼アイススケート場)
- 出 演 八木沼純子さん、荒川静香さん、本田武史さん、恩田美栄さん、フィオナ・ザルドゥア&ドミトリー・スハノフさんほか
- チケット発売日 9月13日(土)
- 入 場 料 アリーナ席…8,000円 S席…6,000円 A席…5,000円(全席指定)
- 問 合 せ 笠松運動公園管理事務所(☎202-0808)

甲種防火管理者講習会受講者募集

- 期 日 10月23日(木)・24日(金)(2日間)
- 時 間 午前9時～午後5時
- 場 所 東海村消防本部(2階会議室)
- 対 象 ①防火管理者に選任予定②防火管理業務に従事③防火管理者の資格取得を希望—のいずれかの条件を満たす方(先着42人)
- 受 講 料 3,900円(テキスト代)
- 申し込み・問合せ 消防本部予防課(☎282-2038)の窓口(備え付けの用紙に必要事項を記入し①受講料②印鑑③写真(縦4cm×横3cmで6か月以内に撮影した脱帽上半身のもの)1枚—を持参の上、9月24日(水)から10月22日(水)までに窓口へ申し込みください。

村治佳織X'masギター・リサイタル

ギターの女神(ミューズ)村治佳織さんによる優雅で繊細な“音の世界”をお届けします。

- 期 日 12月21日(日)
- 時 間 開場:午後1時30分 開演:午後2時
- 場 所 東海文化センター
- 出 演 村治佳織さん(ギタリスト)
- 演奏予定曲 主よ人の望みの喜びよ(バッハ)、ブエノスアイレスの冬(アサド編曲)、あるタンゴ弾きへの哀歌(ブホール)、クリスマス・メドレー(佐藤弘和編曲)ほか
- 入 場 料 3,000円(全席指定)※未就学児の入場はできません。
- 申し込み 9月27日(土)午前9時から、東海文化センター窓口で入場券の前売りを開始します。発売当日は1人に付き4枚までの販売とし、窓口販売の残券があった場合のみ、同日の午後1時から電話予約を受け付けます。
- その他 託児サービス(1,000円/人)がありますので、利用を希望する場合は12月14日(日)までに申し込みください。
- 問 合 せ 財団法人東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内 ☎282-8511)



Photo: Kiyotaka Saito
Costume: Ritsuko Shirahama

会 費
1,500円/月

「東海村古文書を学ぶ会」会員募集

照沼信邦家に保存されている古文書「隠密御用留」について学んでみませんか。

- 活動日時 10月から平成21年3月までの毎月第1・3土曜日 午前10時～11時30分
- 場 所 中央公民館
- 対 象 村内在住の方(30人)
- 講 師 佐久間好雄さん(独立行政法人国立高等専門学校機構茨城工業高等専門学校名誉教授)
- 申し込み・問合せ 9月27日(土)までに照沼秀男さん(☎283-0966)へ申し込みください。

東海村ゴルフ大会参加者募集

- 期 日 10月19日(日)
- 場 所 ザ・オーシャンゴルフクラブ(日立市小木津町771-1)
- 対 象 村内在住・在勤の方
- 費 用 プレー費…9,500円/人(乗車カート・セルフ・昼食代) 参加費…2,000円/人
- 申し込み・問合せ 9月26日(金)までに、参加費を添えて総合体育館(☎283-0673)へ申し込みください。

東海ワンコイン劇場2008 映画「プラス！」を上映

好評の映画上映会「東海ワンコイン劇場」。今月はイギリスに実在する名門プラスバンドの実話をモデルにしたヒューマンドラマの名作「プラス！」(字幕)を上映します。

- 期 日 9月14日(日)
- 上映開始時間 ①午前10時 ②午後1時 ③午後3時10分 ④午後5時20分(全4回)
- 会 場 東海文化センター
- 入 場 料 500円/人(全席自由、3歳以上有料)※前売り券の販売はありません。
- 問 合 せ 財団法人東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内 ☎282-8511)

催し物(講演会ほか)

「障害者就職面接会」を開催

障がい者の雇用機会の拡大と就職の促進を目的とした「障害者就職面接会」を開催します。

- 日 時 9月17日(水) 午後1時～3時30分(受付開始:午後0時30分)
- 場 所 ホテルレイクビュー水戸(水戸市宮町1-6-1)
- 申し込み・問合せ ハローワーク水戸(☎231-6225)

「平成20年住宅・土地統計調査」を実施

10月1日(水)に全国で「平成20年住宅・土地統計調査」が実施されます。この調査は住宅と土地に関する最も基本的な統計調査で、調査結果はまちづくり施策などを立案するための重要な資料として利用されます。9月下旬から調査の対象となった世帯に「調査員証」を携行した調査員が伺いますので、調査へのご協力をお願いします。

■対象 全国から抽出された約350万世帯 ※村内では約1,000世帯が対象となります。

■調査項目 住居に関する事項…建築時期・居住室の数および広さ・増改築の状況等 世帯に関する事項…世帯構成・通勤時間・入居時期等

■問合せ 企画政策部政策推進課企画調整担当(内線1335)

9月は「屋外広告物美化強調月間」です!

良好な景観のまちづくりのため、屋外広告物の表示を行う際は、原則として市町村長の許可を受ける必要があります。

■主な許可基準 ①設置場所が「禁止地域(鉄道沿線・郊外の道路沿道・信号機付近など)」に該当しない②「禁止物件(街路樹・電柱・道路標識など)」に設置していない③広告物の面積や高さなどが基準を満たしている(建物壁面に表示する広告物の面積は合計50平方メートル以下およびその壁面面積の5分の1以下である等)

■その他 許可には最長3年の有効期間があり、対象となる広告物を引き続き表示するためには更新許可の手続きが必要です。

■問合せ 建設水道部都市政策課建築指導担当(内線1245)

家族介護用品助成券交付のお知らせ

村では、寝たきりの高齢者等を在宅で介護している方に助成券(後期分)を交付し、介護用品(紙オムツ等)購入費の一部の助成を行っています。

■対象 現在助成券の交付を受け、引き続き在宅で介護する方 ※新規に交付を希望される方はご連絡ください。

■申し込み・問合せ 前期にお渡しした「東海村家族介護用品購入費助成券決定通知書」をお持ちの上、福祉部介護福祉課高齢支援担当(内線1164)へお越してください。

経口生ポリオワクチンの投与

生ポリオワクチンはポリオ(小児まひ)に対する免疫をつくるもので、2回(投与間隔を41日以上空けること)の投与が必要です。

■日時 9月29日(月)または30日(火)の午後1時15分～2時 ※いずれかの日時にお受けください。

■場所 保健センター

■対象 2回の投与が済んでいない生後3か月から7才6か月未満の乳幼児

■問合せ・その他 保健センター(☎282-2797) ※母子健康手帳と予診票をお持ちください。

グループホーム体験事業を実施

「茨城県手をつなぐ育成会」が主催するグループホーム体験事業で宿泊生活を体験しませんか。

■期間 9月11日(木)から平成21年3月27日(金)までの毎週木・金曜日(1泊2日) ※上記以外の期間・利用日についてはご相談ください。

■場所 グループホーム「ポーニョ」(豊白1-8-3)

■対象 15歳以上の知的障がい者

■費用 1,000円程度/人(1泊2日分の朝・夕食代、部屋代、光熱水費等)

■申し込み・問合せ NPO法人「まつぼっくり」(☎287-7172 電子メールmatsubo@mk.iso.net)

エトセトラ

白方小学校の建設工事が始まりました

新しい白方小学校の建設工事が始まったことに伴い、平成21年11月までの間、建設工事現場周辺の道路(下図参照)では工事車両等が通行する機会が増加します。村では、登下校時の児童や住民の皆さんの安全に配慮し工事を進めていますので、ご理解とご協力をお願いします。



■問合せ 教育委員会学校教育課企画総務担当(内線1411)

「多重債務相談窓口」を設置

財務省関東財務局水戸財務事務所では、複数の借金が重なり、自らの収入では返済が困難になった方のための「多重債務相談窓口」を設置しました。必要に応じて弁護士や司法書士等へ相談の引き継ぎも行います。相談は無料となりますので、どうぞご利用ください。

■受付日時 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後0時15分、午後1時～4時30分

■問合せ 財務省関東財務局水戸財務事務所 多重債務相談窓口(☎221-3190)

土壌燻蒸薬剤の空き缶を回収します

土壌消毒などに使用されている土壌燻蒸薬剤(D-D、ドクロロール類)の空き缶を回収します。

■日 時 9月29日(月) 午前9時～午後3時(正午から午後1時までを除く)

■場 所 J Aひたちなか東海支店

■費 用 100円/缶(当日現金で徴収します)

■搬入条件 ①缶の中を乾燥させ、臭いの無いもの ②缶の上部と底部に直径10cm以上の穴を開けたもの(当日会場に穴を開ける道具を用意します) ※搬入条件が守られない場合は、回収できません。

■問 合 せ J Aひたちなか東海配送センター(☎282-0203)

建築物を建築される方へ 「完了検査」を受けましょう

建築確認を受けた建築物が完成した際には建築基準法に基づき「完了検査」を受けることが定められています。この検査は、法定の審査機関が建築現場において行うものです。完了検査を受けるためには、工事完了時に「完了検査申請書」を県北地方総合事務所または民間の指定確認検査機関へ提出してください。なお、完了検査後に発行される「検査済証」は建築物の安全性等が確認された適合建築物の証しであり、建築物の売買や融資を受ける際に提示を求められることもありますので、大切に保管してください。

■問 合 せ 県北地方総合事務所(☎225-1313)

笠間市 ● 全国高等学校アームレスリング選手権大会

◆期 日 10月26日(日) 午前10時から(選手受け付け:午前8時30分から)

◆場 所 笠間市民体育館(笠間市石井2068-1)

◆出場資格 高等学校に在学中で20歳以下の方

◆競技クラス 《男子の部》個人の部(右・左腕とも)…60kg以下級・70kg以下級・80kg以下級・80kg超級 《団体の部(右・左腕とも)…1チーム3人で合計220kg以下 《女子の部》個人の部(右・左腕とも)…55kg以下級・55kg超級 《団体の部(右腕のみ)…1チーム3人で体重無制限

◆参加費 個人・団体の部とも各1,000円/人(プログラム、記念Tシャツ、弁当、スポーツ障害保険代等) ※右・左腕、複数クラスに参加しても同額となります。

◆申し込み・問合せ 10月10日(金)までに全国高等学校アームレスリング選手権大会事務局(笠間市教育委員会スポーツ振興課内 ☎0296-77-1101)へ申し込みください。

笠間市 ● 笠間の菊まつり

第101回笠間の菊まつり関連イベントが笠間稲荷神社をメイン会場に笠間市内各所で開催されます。

◆期 日 等

イベント	期 日
菊人形展(大河ドラマ「篤姫」全12景)	10月18日(土)～11月24日(月)
大菊花展	
市民菊花展	
第3回お稲荷さんコンテスト	10月25日(土)
神事流鏝馬	11月3日(月)
かさま・菊あかり回廊(神社のライトアップ、参道等の明かり演出)	11月7日(金)～9日(日)
假屋崎省吾の世界(フラワーデモンストレーション&トークショー)	11月16日(日)
第2回ひよいパク選手権	11月23日(日)・24日(月)
笠間のアートまちめぐり	9月13日(土)～11月30日(日)

◆問 合 せ 笠間市役所商工観光課(☎0296-77-1101)

となりのまちから イベントガイド

水戸市 ● 水戸ホーリーホックホームゲーム後期日程

◆日 程 等

月	日	曜 日	対戦相手	開始時間	会 場
9	14	日	サガン鳥栖	13:00	笠松運動公園
	23	火	徳島ヴォルティス	13:00	日立市民運動公園
10	5	日	FC岐阜	13:00	笠松運動公園
	26	日	アビスパ福岡	13:00	
11	23	日	ヴァンフォーレ甲府	13:00	笠松運動公園
	29	土	横浜FC	13:00	

◆場 所 笠松運動公園(那珂市向山1282-1) 日立市民運動公園(日立市東成沢町2-15-1)

◆入 場 料

区 分		SS席	S席	A席
一般: 前売り券	大人	4,000円	2,000円	1,500円
	フューチャーズ	2,000円	1,000円	500円
一般: 当日券	大人	5,000円	2,500円	2,000円
	フューチャーズ	2,500円	1,500円	1,000円
水戸ホーリーホック オフィシャルサポーター クラブ会員: 当日券	大人	4,000円	2,000円	1,500円
	フューチャーズ	2,000円	無料	無料

※大人…19歳以上 フューチャーズ…18歳以下

◆問 合 せ 株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック(☎212-7700)

ひたちなか市 ● 虎塚古墳秋季一般公開

古墳時代に描かれた国指定史跡「虎塚古墳」の彩色壁画の一般公開を行います。ぜひご覧ください。

◆期 間 11月6日(木)～9日(日)、11月13日(木)～16日(日)

◆時 間 午前9時～午後0時30分、午後1時30分～4時

◆観 覧 料 大人…150円(団体120円) 小・中学生…80円(団体60円) ※団体は30人以上

◆問 合 せ ひたちなか市文化課(☎273-0111 内線327)、虎塚古墳(☎273-3663 ※公開期間中のみ)



須和間幼稚園 ● 菊田日和ちゃん

夏祭り

幼稚園の夏祭りで太鼓をたたいた時の様子を描いてくれた日和ちゃん(6歳)。「年長組のみんなと一緒に太鼓をたたいたの。すごく楽しかった!」と、その時の様子を思い出しながら笑顔で話してくれました。

ぼくの夢 Dream-90 わたしの夢



夢は…。 “大工”

村松小学校6年 ● 沼田慎吾

僕の将来の夢は大工になることです。そう思ったのは、2年生の時におじいちゃんにくぎの打ち方を教えてもらったことがきっかけです。「うまく打てるかな…」と心配している僕に、おじいちゃんは「大丈夫、慎吾ならできるよ」と言ってくれました。それで僕は、思い切って初めてくぎを打ったのですが、そのくぎは見事に曲がってしまい、失敗でした。でもおじいちゃんが「真っすぐに打ってごらん、次はできるよ」と励ましてくれたので、もう一度挑戦すると今度はちゃんと真っすぐに打つことができました。「やったー!ちゃんとできたー!!」。僕は思わず大声を出して喜んでしまいました。

その時から僕は、くぎを打って物を作り上げていく世界に引き込まれていき、将来は大工になろうと決めただけです。夏休みには、おじいちゃんと一緒にいすや本棚を作ってみようと思います。

わが家の子育て奮戦記

表紙の「ひと」 高田幸江



わが家の子どもたちは3人。長女の幸穂(5歳)は村立幼稚園の年長組、二女の真幸(3歳)は早稲に集団生活をさせたので日立市の幼稚園の年少組、長男の幸篤(1歳8か月)は甘えん坊の男の子です。朝は村内と日立市の幼稚園に子どもたちを送り、少しの間だけ幸篤と2人で遊び、昼過ぎにまたそれぞれの幼稚園に迎えに行きます。帰宅しても疲れ知らずの3人は、狭い部屋で鬼ごっこ…かと思っただけ、けんかが始まり怒られていますが、めげない子どもたちです。おなかがすくと騒ぎ、おなかがいっぱいになると3人一緒に布団で絵本を読んで寝てしまいます。3人の寝顔を見て今日も一日無事終わったとホッとする毎日です。休日は私の両親も子育てに参加してくれ、子どもたちの好きな所へ連れて行ってくれたり、しつつけや勉強について私の子育てで足りない部分をしっかりと補ってくれる大切な存在です。子どもたちは、そんなじいじとばあばが大好きです。3月に東海村に引っ越してきて親子ともども新しい環境にとっても不

安でした。幸穂は転入初日、涙を流し教室に入れませんでした。その姿を見て、子育てに未熟な私も不安でしたが、クラスの友達や先生方が温かく迎えてくれ、今では大好きな友達がたくさんでき、とても楽しく幼稚園生活を送っているようです。私も同様に周囲のお母さんたちの優しさに触れ、心強くなりました。以前、子育ての壁にぶつかったときに利用していた児童相談所もあまり行かなくなり、その代わりに毎日会うたくさんのお母さんたちとの会話で子育てのアドバイスももらっています。新しい環境の中で人との出会いの大切さを感じた私は、子どもたちに、今まで出会った人たちやこれから出会うたくさんの人たちの優しさに対する感謝の気持ちを忘れずに歩んでいってほしいと願うようになりました。わが家は、みんなの名前に「幸」が付いています。子どもたちが名前のようにいつまでも幸せに笑顔でいられるよう、親である私たちも子どもとともに成長しようと思いつつ、明日からも3人の子育てを楽しんでいきたいです。